

和歌山信愛大学 自主活動（海外）報告書

活動者：栗林愛結

期間：2019年8月1日―2019年8月7日

渡航先：カナダ（バンクーバー、リッチモンド）

目的：パウエル祭りでのプレゼンテーションと現地の人達との交流

活動感想：8月5日にパウエル祭りに参加しました。マイクが故障したり、パワーポイントがスクリーンにきちんと映らないなどのハプニングがありましたが、無事にプレゼンテーションを終えることが出来ました。発表をする時はとても緊張しましたが、観客の方を向いて大きな声で発表をすることが出来ました。練習の成果を発揮することが出来て良かったです。発表をしている時に観客の方を見ると、時々頷いて下さって、私達の英語が通じていると実感しました。パウエル祭で行ったプレゼンテーションを和歌山県人会でも行いました。中には、三尾のことを思い出された方で泣いている方もいらっしゃいました。8月6日はバンクーバー新朝日軍という野球チームと交流しました。バンクーバー新朝日軍とは、バンクーバーでかつて活躍した日系人野球チーム、バンクーバー朝日軍の創立から100年となることを記念し、13歳～16歳の少年で2014年に結成された野球チームです。初日にリッチモンド市長とお会いした時は、緊張のためあまり会話をすることが出来なくてとても悔しい思いをしました。そのため、バンクーバー新朝日軍との交流は自ら積極的に話しかけました。例えば、語り部ジュニアの紹介やどんなスポーツが好きなのか、今までにどんなスポーツがしたことがあるのかななどを話しました。最後に、日本とカナダの国旗と私とお話しした男性の名前を書いたうちわをお渡ししました。うちわの使い方の説明もしました。とても喜んで下さって私も嬉しかったです。今回、私が行ったカナダ研修は、旅行では体験することの出来ない経験をすることが出来ました。これからの学生生活も色々なことにチャレンジしていきたいと思います。



バンクーバー朝日軍（バンクーバーでかつて活躍した日系人野球チーム）の方々との写真



カナダ和歌山県人会の方々との写真